

- 「生理の貧困」を知っていますか？  
～生理用品提供サービス「OiTr(オイトル)」の取組から考えるジェンダー平等～
  - 思い悩んでいることはありませんか？  
～こころの健康 治療や生活を応援するサイトについて～
  - ジェンダー平等の実現に向けた草の根活動とは  
～地域の安全安心ステーションの駐在体験から考える～
  - 書籍紹介「私はいま自由なの？ 男女平等世界一の国ノルウェーが直面した現実」
- 編集後記
  - インフォメーション

# かがやけ地球



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



藤 沢 市

# 「生理の貧困」を知っていますか？

～生理用品提供サービス「OiTr(オイテル)」の取組から考える  
ジェンダー平等～

「OiTr(オイテル)」は、公共施設や商業施設などの個室トイレで、生理用品を無料配布するサービスです。藤沢市では女性の健康と尊厳の視点から、生理に伴う負担を軽減することを目的に、オイテル株式会社と協定を結び、市役所本庁舎の女性用トイレに2台設置されました。スマートフォンのアプリを登録することで利用が可能で、利用者は2時間に1枚、25日間で最大7枚を無料で受け取ることができます。



生理用品というと、種類も豊富で、女性は好みの製品を選び、月に一度の生理の期間を当たり前のよう経過している、と考える方も多いかもしれません。

ところが、長引くコロナ禍で「生理の貧困」をめぐる問題が浮き彫りになってきました。生理用品を買うために食費を削ったり、生理用品をトイレトーパーやラップなどで代用したり、漏れなどの心配から外出や仕事の機会を失ったりするといった現状に直面している女性が、特に若年層で多いことが明らかになりました。

また、人によっては、生理用品の購入よりも、友人との付き合いや化粧品の購入などを優先しているという実態も聞きます。しかし、思春期の多感な年頃であることを考えると、そのことを責めることができるでしょうか。

今回、生理用ナプキンディスペンサーの設置をきっかけとして、「生理の貧困」に伴う女性の社会での機会損失が少しでも減ることを願っています。

(山中 記)



# 思い悩んでいることはありませんか？

## ～こころの健康

## 治療や生活を応援するサイトについて～

新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、私たちのこころにも大きな影響を与えています。

こころの不調は、目に見えづらいため、気付かないうちに、症状が重くなることがあります。

まずは、国や自治体で提供するサイトをきっかけとして、ご自身のこころの健康について考えてみてはいかがでしょうか。



藤沢市

### メンタルチェックシステム「こころの体温計」



自分のこころの不調に気付くことは、安定した生活を送るための一歩となります。「こころの体温計」では、直近の生活に関する質問に答えた結果が、金魚鉢のイラストで表現されます。たとえば赤金魚がケガをしているイラストは、自分の体や病気に対するストレスが高いことを表し、水槽の水の透明度はこころの落ち込み度を表しています。診断は、藤沢市のホームページから数分で行うことができます。

こころの体温計 HP

<https://fishbowlindex.jp/fujisawa/demo/index.pl>



### 知ることからはじめよう みんなのメンタルヘルス総合サイト 厚生労働省

こころの不調・病気に関する情報をまとめた総合情報サイトです。病気や症状の説明、医療機関、相談窓口、各種支援サービスについての紹介など、治療や生活に役立つ情報を分かりやすく提供しています。



### こころもメンテしよう 若者を支えるメンタルヘルスサイト 厚生労働省

ゆううつな気分、やる気がなくなる、不安な思いなど、こころのSOSサインに気付いたときにどうすればいいのかなど役立つ情報を分かりやすく紹介しています。ご家族や、教職員の方向けのページもあります。



### 働く人のメンタルヘルス ポータルサイト こころの耳 厚生労働省

働く人、その家族、又は事業者の方向けに「どこに相談すればよいのか」、「どのように取り組めばよいのか」、「どのような支援があるのか」などの情報を分かりやすく提供しています。



(佐野 記)



# ジェンダー平等の実現に向けた 草の根活動とは

## ～地域の安全安心ステーションの駐在体験から考える～

私たちが日常生活を送るうえで、地域に根差した活動にどのように関わることができでしょうか。藤沢市が平成30年度に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」では、「ボランティア活動や地域活動への参加状況」において、「町内会や自治会などの活動」(36.0%)が最も高い一方で、ライフスタイルの多様化などから、地域活動を担う人が不足している現状があります。

「ふじさわジェンダー平等プラン2030」では、「多様な市民の地域参加の促進」が目標の一つとして掲げられています。今回は、地域の安全安心ステーションに駐在した体験から感じたことをお伝えしたいと思います。

## 運営を通じて感じたこと

同じ地域に居住する幅広い年齢層の方が運営しており、2人ずつ交代する形で駐在しています。安全安心ステーションは、地域内のさまざまな情報を共有できる交流の場であり、活動の意義を感じることができる雰囲気でした。私が参加した安全安心ステーションは、現在、女性がリーダーを務めています。女性が活躍する姿を通して、地域でのジェンダー平等の意識醸成にもつながります。

また、限られた時間の中でも、幅広い年齢層の方が気軽に交流することができる環境であることから、住民間でお互いに育て合うことにもつながりそうです。私は、こうした人と人との交流の中からジェンダーについて考える機会が生まれればと願っています。

## 活動を通じて感じたこと

小学生下校時の見守り活動が中心ですが、小さい子どもを連れた家族や様々な児童・生徒とも挨拶を交わすことができました。

日常の些細なやり取りですが、地域の防犯・安全面を強化するだけでなく、地域住民間で親しみを感じるきっかけになるのではないのでしょうか。



(前田 記)

# 「私はいま自由なの？ 男女平等世界一の国 ノルウェーが直面した現実」



6月23日から29日までの1週間は国の「男女共同参画週間」です。内閣府では、毎年、性別にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会のきっかけとなるキャッチフレーズを、ユース世代を対象に募集しています。令和4年度は、17歳の作品「『あなたらしい』を築く、『あなたらしい』社会へ」が選ばれました。

「『あなたらしい』を築く、『あなたらしい』社会へ」を確立した国のひとつがノルウェーです。ジャーナリストであるリン・スタルスベルグの著書「私はいま自由なの？ 男女平等世界一の国ノルウェーが直面した現実」には、男女平等先進国の現状がつぶさに語られています。

『私はいま自由なの？  
男女平等世界一の国ノルウェーが直面した現実』  
リン・スタルスベルグ 著 / 枇谷 玲子 訳 / 出版社: 柏書房

仕事・家庭の問題は、「制度やシステムが確立されればそれで解決」というほど単純なものではありません。「家庭内の小さな問題は、社会の大きな問題と繋がっている」という著者は、男女平等世界一と謳われるノルウェーで直面する理想と現実の隔たりについて掘り下げ、「女性解放」について深く考察しています。その視点は庶民的で、懸命に日々を生きようとする人々の悩みと疑問に端を発する課題を浮き彫りにします。まるで家族や友人との語りから得られる深い納得や共感を覚えるのは、著者自身が必死に今を生きているからなのでしょう。

「生きているうちは、今よりあともうちょっとよい人生を送りたいと常に願おう。たとえ世界一素晴らしい国に暮らしていたとしても。」というメッセージで本書は結ばれています。社会は絶えず変化していて、誰もが、追い立てられるように走り続けなければならない現代において、「生きやすさ」を求めて立ち止まり、考えてみるための一冊です。



女性の参画が社会を変える

## 「かなテラス カレッジ」で学びませんか？

女性を取り巻く社会の現状などについて学び、望ましい社会づくりに自分らしくコミットするためのヒントや、地域社会の課題を発見し解決するための手法を身に付けます。

セミナーでは、講義だけでなくグループワークやディスカッションなどをおして学びを深めます。

### 「かなテラス カレッジ」実践セミナー

**期 間** 2022年8月6日(土)開始(必修講座6回+選択講座1~3回)

**時 間** 各回10時から15時30分まで(昼休憩は12時から13時まで)

**会 場** かなテラス(藤沢市鶴沼石上2-7-1 県合同庁舎2階)  
※藤沢駅から徒歩10分

**受講料** 必修講座1,800円+選択講座300円(一部の選択講座は600円)

**定 員** 20人(申込者多数の場合は抽選)

**申込方法** 電話又は神奈川県電子申請システムから申込み(7月20日(水)17時まで)  
URL: [https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza\\_event/kanakare2022.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza_event/kanakare2022.html)

**お問い合わせ先** かなテラス参画推進課(TEL.0466-27-2115)



#### 【講座の一部を紹介します】

- (1)人々が支えあう地域社会を目指すーこの先の社会参画に向けてー
- (2)事業の立ち上げと継続していくための工夫ーNPO法人(子育て支援)の活動事例からー
- (3)自分らしいリーダーのスタイルを見つけるー思い込みを解消し、あなたの中のリーダーシップを育てようー

#### 編集後記



- ・暑さに負けないように、水分補給をして熱中症に気を付けます。(佐野)
- ・季節ごとに巡ってくる代りばえのしない年間行事が本当にありがたい、と思う。(鈴木)
- ・旗を持ち下校中の小学生達に”おかえりー”と声をかけたら  
タンポポの束をくれて嬉し恥ずかし。(前田)

かがやけ地球は、市民の編集員さんと  
協力し、年2回発行しています。

編集スタッフ

鈴木 悠子・前田 英孝  
佐野 夏央子・山中 亜莉沙

✉ ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております！